

令和7年度 課の運営方針書

産業振興部 農林整備課

1 課の運営方針

【課の使命】

●産業として魅力ある農林業を構築し、次代を担う多様な担い手の育成・確保を図ります。

●森林資源の多様な活用を促進し、公益的機能の維持・発揮や収益性の高い林業への転換を図ります。

●農用地や農業用水路、農道などの農業生産基盤の整備を行い、農業の生産性向上や農業構造の改善を図ります。

【課の目標】

① 農林業の持続可能性の確保に向けて、農業生産基盤であるほ場等の整備や林業生産基盤となる林業専用道等の整備を計画的に推進します。

② 地域住民の暮らしの安全と農業生産の維持を図るため、ため池の廃止・改修を行います。

③ 新たな林業従事者を確保するため、林業研修等を通じて、持続可能な林業就業に向けた担い手の育成を図ります。

④ スマート林業機器等の活用や早生樹等の植林を通じた検証を行い、林業の低コスト化・効率化による林業経済の好循環を推進します。

⑤ 森林経営管理制度の活用により、森林の適切な管理と林業の成長産業化の両立を図ります。

【行政経営への取組み】

○社会情勢等の変化を踏まえて補助金等の見直しを行います。

○業務の平準化、組織体制の一本化を進めることで、各自が働き方改革の意識を高めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(農林整備担当)農村が持つ多面的機能を維持・発揮するため、地域資源の適切な保全管理や農業生産基盤の整備を推進します。

(林政担当)林業経営の効率化と森林管理の適正化を図るため、森林経営管理制度を活用した森林整備を推進します。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	10 人	うち	正職員	10 人	・	会計年度 任用職員	0 人	人件費	正職員	72,700 千円	会計年度 任用職員	千円
-----	------	----	-----	------	---	--------------	-----	-----	-----	-----------	--------------	----

※R5職員平均給与(7,270 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	742,409 千円	歳出予算額	1,021,613 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	32 事業
-------	------------	-------	--------------	-------------	---------	-------

4 課の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	1 産業 3 農林水産業の振興 1 多様な担い手の確保と育成	・森林組合や県と連携し、緑の雇用制度の活用や林業研修等を通じて、人材の確保・育成を図ります。 【新規林業就業者数:26人】(R7年度累計)
2	1 産業 3 農林水産業の振興 2 生産基盤の整備	・区画整理や水路・農道等の整備を進め、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図ります。また、老朽化した、ため池等の農業用施設の改修を関係者と協議しながら計画的に進めます。 【ほ場整備面積:818ha】(R7年度累計) ・林業事業体等が多機能で生産性の高い林業機械を導入して低コストで効率的な施業が行えるよう、林業専用道等の整備や適切な維持管理を計画的に進めます。
3	1 産業 3 農林水産業の振興 3 生産体制の強化	・林業経営の収益性の向上を図るため、分散している森林を集約し一体的な施業を行う取組を推進するとともに、成長等に優れたエリートツリーや早生樹の植栽を促進します。また、木質バイオマス材の原料の効果的・安定的な供給を図るため、木質バイオマス材生産体制の構築を市有林でモデル的に行います。
4	1 産業 3 農林水産業の振興 4 農山漁村の公益的機能の発揮	・森林所有者をはじめ、森林組合、造林公社、県等の機関との連携を図り、森林の適正管理を計画的に進めます。
5	5 防災・安全 1 災害に強いまちづくりの推進 2 河川等の適切な管理と施設改修・整備の推進	・地震や集中豪雨などによる災害の防止、農村地域の防災力の向上を図ります。